

TA 学校教育心の開発研究所

社会貢献活動として、学校教育のサポートを目的とした研究所

- ★TA (Transactional Analysis)は、バーン博士 (Eric Berne 米 精神科医) によって創設され、日本では「交流分析」と呼ばれています。
- ★自分らしく生きることをめざす「人間性心理学」の一つで、個人が成長し変化するための体系化されたパーソナル理論です。コミュニケーション理論や子どもの発達理論などにも関係があります。
- ★その中で「TA 学校教育心の開発研究所」は、教育に重点を置いた研究所として、教材開発、研修支援、指導者育成を行っています。

教材支援

- ・書籍『自尊感情を育てる「エゴグラムSHE」活用ガイド』
- ・書籍『教育に活かす交流分析』改訂版
- ・質問紙「エゴグラムSHE」 標準化記入紙

研修支援

- ・「教職員研修」「PTA研修」に講師を派遣
- ・無料の出前講座（講演・授業）を受付中
- ・文科省土曜学習応援団登録団体として「出前講座」実施

支援者養成

- ・学校支援者を養成する講座（協会会員対象）
- ・学校関係者を対象とする「交流分析活用の講座」
- ・研究員制度（講座受講者の中から支部長推薦による）

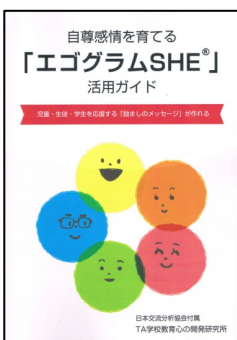


教育に活かす交流分析 改訂版 ～事例とワークで教育力を高める～

「自分のことを、分かってほしい！認めてほしい！」そのような子どもの気持ちにより添い、行動を見守るヒントが、交流分析から得られます。

学校でよくある事例とワークで、交流分析の基本から学べます。この本が、子どもと関わるすべての皆様に、多くの気づきと勇気を送ることを願って編集しました。

質問紙の「エゴグラム SHE」や「ストローク・チェック」は、すぐ使えます。



自尊感情を育てる「エゴグラム SHE」活用ガイド

～児童・生徒・学生を応援する「励ましのメッセージ」が作れる～

「エゴグラム SHE」は、学校と家庭の行動の違いから、心の有り様が読み取れる質問紙です。それを活用した「励ましのメッセージ」は、若者の自尊感情を育てるのに有効です。そのメッセージの作成法と事例、さらに、ストローク理論と活用法の Q&A を掲載しました。